

早期景気観測調査

【12-1 月期 調査結果概要報告書】

平成30年2月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成30年1月15日(月)～31日(水)
4. 調査対象： 当所会員140事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 100件
7. 有効回答率： 71.4%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【12-1月期の動き】

全体業況は小幅な悪化も、小売業以外で業況改善。製造業は過去最高の水準。向こう3カ月の業況は、悪化の見通し。

12-1月期の全業種総合の業況DIは、▲12.0（前期比▲1.2ポイント）と小幅ではあるが、2期連続の悪化となった。売上DI、採算DIがそれぞれ改善に転じたが、仕入単価DIは2期連続の悪化となっている。従業員DIについては、6期ぶりに悪化。依然として人手不足感が残っている。金融貸出しDIについては改善に転じた。

向こう3カ月の先行き業況は、悪化する見通し。

業種別では、小売業を除く業種（製造業、建設業、卸売業、サービス業）で業況改善となった。

製造業の業況DIは9.1（前期比+5.3ポイント）と3期連続で改善し、過去最高（平成13年度以降）の値となった。売上DIが4期連続、採算DI、従業員DIが3期連続の改善となったが、一方で仕入単価DIは25.5ポイントの大幅なマイナスで悪化に転じた。金融貸出しDIについては、改善に転じている。

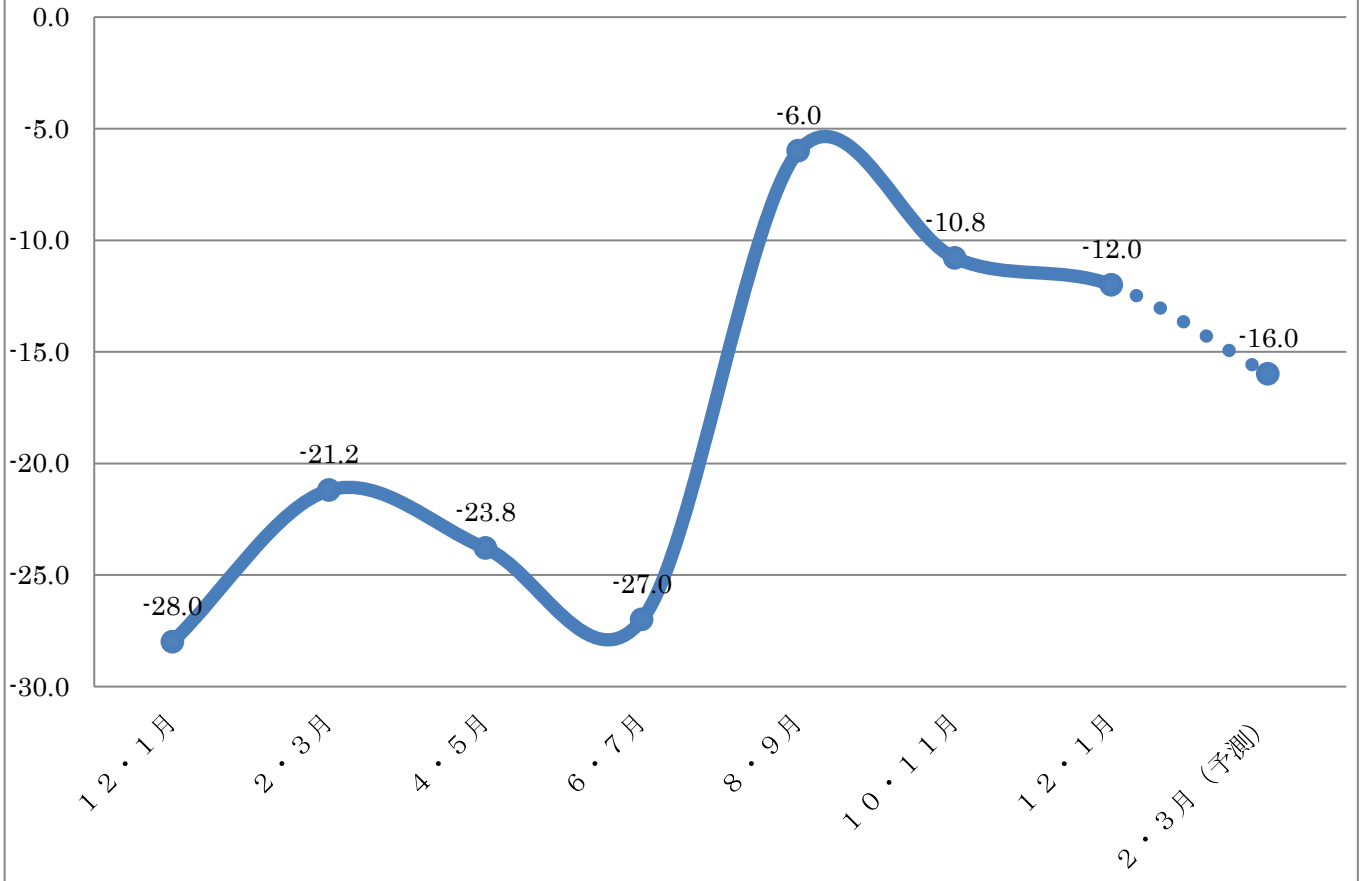
建設業の業況DIは▲9.5（前期比+1.0ポイント）と、小幅ながら4期連続で改善となった。売上DIが悪化に転じ、仕入単価DIについても2期連続の悪化となった。一方で、採算DIは4期連続で改善している。従業員DIについては、ポイント悪化も人手不足感は緩和された。金融貸出しDIは、小幅な悪化となっている。

卸売業の業況DIは0.0（前期比+5.6ポイント）と改善に転じた。売上DI、仕入単価DIが、それぞれ2期連続で悪化、採算DI、従業員DIが、それぞれ横ばいの推移となった。金融貸出しDIについては、改善に転じている。

小売業の業況DIは▲30.4（前期比▲17.9ポイント）と2期連続の悪化となった。売上DI、採算DI、仕入単価DI、従業員DI、金融貸出しDIの全項目で悪化となった。金融貸出しDIを除く項目で、2期連続の悪化となっている。

サービス業の業況DIは▲31.3（前期比+8.7ポイント）と改善に転じた。売上DI、採算DI、従業員DIが、それぞれ改善に転じ、とりわけ前期大幅に悪化した売上DIが41.2ポイント、採算DIが22.0ポイントの大幅な改善に転じている。一方、仕入単価DIは、3期連続の悪化となった。金融貸出しDIについては、小幅な改善となっている。

業況D I の推移








◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について



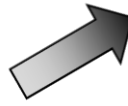



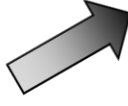
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」(改善)と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」(改善)と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲12.0	▲16.0	▲16.0	▲17.0	▲52.0	18.0	0.0


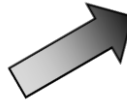
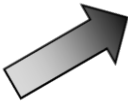




12-1月期の全業種総合の業況D I は、▲12.0 (前期比▲1.2ポイント) と小幅ではあるが、2期連続の悪化となった。

項目別では、売上D I (▲18.6→▲16.0)、採算D I (▲22.5→▲17.0) がそれぞれ改善に転じたが、仕入単価D I (▲36.3→▲52.0) は2期連続の悪化となっている。従業員D I (18.6→18.0) については、6期ぶりに悪化。依然として人手不足感が残っている。金融貸出しD I (▲2.9→0.0) については改善に転じた。

向こう3カ月の先行き業況は、▲16.0と悪化する見通し。

◆ 業種別

製造業








業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
9. 1	13. 6	4. 5	4. 5	▲40. 9	18. 2	0. 0

業況D Iは9. 1（前期比+5. 3ポイント）と3期連続で改善し、過去最高（平成13年度以降）の値となった。

項目別では、売上D I（0. 0→4. 5）が4期連続、採算D I（▲11. 5→4. 5）、従業員D I（15. 4→18. 2）が3期連続の改善となった。一方、仕入単価D I（▲15. 4→▲40. 9）は25. 5ポイントの大幅なマイナスで悪化に転じた。金融貸出しD I（▲7. 7→0. 0）については、改善に転じている。

向こう3カ月の業況は、13. 6と改善する見通し。

建設業




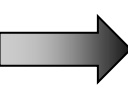

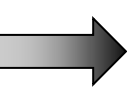

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲9. 5	▲4. 8	▲9. 5	▲4. 8	▲52. 4	19. 0	4. 8

業況D Iは▲9. 5（前期比+1. 0ポイント）と、小幅ながら4期連続で改善となった。

項目別では、売上D I（0. 0→▲9. 5）が悪化に転じ、仕入単価D I（▲36. 8→▲52. 4）についても2期連続の悪化となった。一方で、採算D I（▲15. 8→▲4. 8）は4期連続で改善している。従業員D I（31. 6→19. 0）については、ポイント悪化も人手不足感は緩和された。金融貸出しD I（5. 3→4. 8）は、小幅な悪化となっている。

向こう3カ月の業況は、▲4. 8と改善する見通し。

卸売業


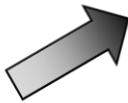

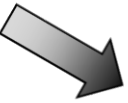
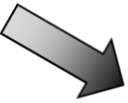


業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
0. 0	▲22. 2	▲11. 1	▲16. 7	▲66. 7	44. 4	5. 6

業況DIは0. 0（前期比+5. 6ポイント）と改善に転じた。

項目別では、売上DI（▲5. 6→▲11. 1）、仕入単価DI（▲55. 6→▲66. 7）が、それぞれ2期連続で悪化、採算DI（▲16. 7）、従業員DI（44. 4）が、それぞれ横ばいの推移となった。金融貸出しDI（0. 0→5. 6）については、改善に転じている。

向こう3カ月の業況は、▲22. 2と大幅に悪化する見通し。

小売業



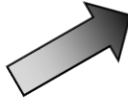
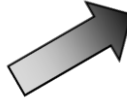

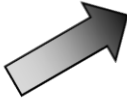
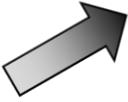
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲30. 4	▲26. 1	▲43. 5	▲39. 1	▲39. 1	8. 7	▲4. 3

業況DIは▲30. 4（前期比▲17. 9ポイント）と2期連続の悪化となった。

項目別では、売上DI（▲37. 5→▲43. 5）、採算DI（▲25. 0→▲39. 1）、仕入単価DI（▲33. 3→▲39. 1）、従業員DI（12. 5→8. 7）、金融貸出しDI（▲4. 2→▲4. 3）の全項目で悪化となった。金融貸出しDIを除く項目で、2期連続の悪化となっている。

向こう3カ月の業況は、▲26. 1と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲31.3	▲50.0	▲18.8	▲31.3	▲68.8	0.0	▲6.3


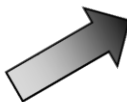




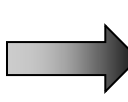
業況DIは▲31.3（前期比+8.7ポイント）と改善に転じた。

項目別では、売上DI（▲60.0→▲18.8）、採算DI（▲53.3→▲31.3）、従業員DI（▲13.3→0.0）が、それぞれ改善に転じた。とりわけ、前期大幅に悪化した売上DIが41.2ポイント、採算DIが22.0ポイントの大幅な改善に転じている。一方、仕入単価DI（▲53.3→▲68.8）は、3期連続の悪化となった。金融貸出しDI（▲6.7→▲6.3）については、小幅な改善となっている。


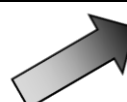




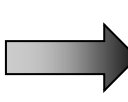
向こう3カ月の業況は、▲50.0と悪化する見通し。

◆ 業種別詳細








製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


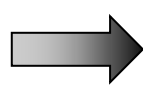
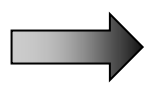
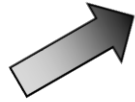
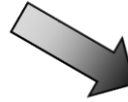

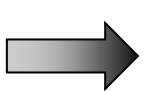
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


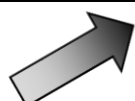




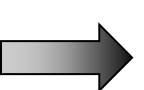
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


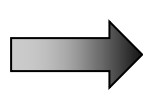
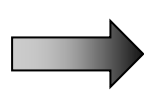



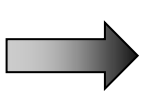
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

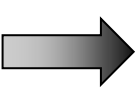
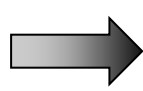




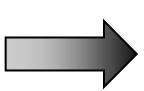
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


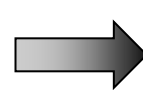
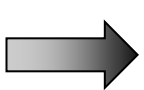
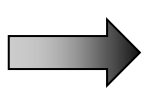

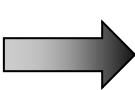

建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



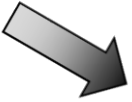

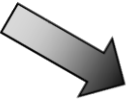

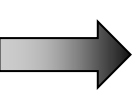
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						





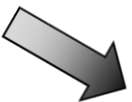


卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						







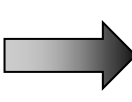
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



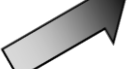

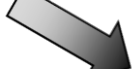
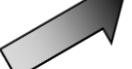

小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


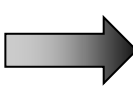
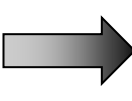

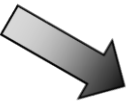
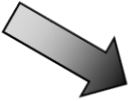
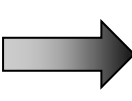
小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・ここ2～3年の傾向として、ギフトは下降ながら、その分をおせち向け商材が補填する形で売上を維持。採算については、水産物価格高騰の中、鮑は前年比で下落したため好転。従業員については、売り手市場からか離職者続出。向こう3カ月での確保が課題。

製造業（工業製品）

- ・水晶業界全体では、生産は前月からは増加していますが、受注は携帯電話関係を中心に減少。自動車用は堅調ですが、単価がやや下がっています。

製造業（宝飾）

- ・全体的にどのブランド様も、クリスマス商戦は不調のようでした。

製造業（ニット・アパレル）

- ・現状はほぼフル稼働。2月以降は春物の受注は減少気味。2月、3月は秋冬サンプル作りで多忙であるが、外注生産力が急速に減少。

【建設業】

建設業（建築）

- ・民間の設備投資が活発になってきたと思われる。公共工事は予定公表価格が安く、受注が難しい。

建設業（鉄鋼）

- ・この先原料の値上げが予想され、鋼材単価は上がる見込み。昨年のような大きな赤字工事がないため、採算ベースは好転を予想している。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・甲府地方卸売市場の水産荷受として、流通機構の大幅な変化、海（自然界）の変化による魚の漁獲高の減少、外国との魚の取り合いなど厳しい状況にあります。

卸売業（繊維）

- ・小売店の廃業する店が多くなりました。

卸売業（その他）

- ・製造業関係のメンテナンス、設備関係の需要が伸びています。

【小売業】

小売業（食料品）

- ・プライダル関連の商品がメインなので、売上は下降気味です。

小売業（趣味・日用品）

- ・11月後半ぐらいから、客足も町の人通りも一段と少なくなったような気がする。イオンモールの影響もあるかもしれないが、すっかり活力が出てこないのが気かり。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・県内の消費動向は、悪化していると感じる。高齢化、若者の減少 etc.
- ・業況はいつもの年より悪く、1月に入ってからの予約などは大変少なくなりました。また、仕入（食材）単価は品薄で今までにないほど高くなっています。特に野菜類。売上が下がっているの
で採算が上がらない。暖かな春を待ち、来客を増やしていきたい。

サービス業（観光）

- ・昨年後半からの燃料価格上昇による仕入れコスト増が懸念。また従業員、パートも不足状態が慢性化しています。
- ・団体客、個人客が例年より少ないようです。数社から値上げの連絡がありました。

サービス業（飲食その他）

- ・一店舗閉店のため、業績悪化の状態。
- ・先日、ウナギの稚魚が大不漁という記事が掲載されました。黒潮の流れの変化、乱獲等の原因が考えられますが、いよいよ絶滅が現実となってきました。卵から成育させる完全養殖を早期に実現させてもらいたいと切に思います。

以上